

EdgeAI Station クイックスタートガイド

ユーザーマニュアル要約版

バージョン: 1.13

日付: 2025 年 10 月 31 日

作成者: Edgematrix

モデル: EX3 / EX5 / EX7

機密レベル: 一般使用

凡例

i 注記: 追加の有用な情報、ヒント、または説明を提供します。

! 警告: 潜在的な問題を回避するために注意深い配慮が必要な注意点を示します。

! 重要: 重要な情報を示します。これを無視すると、深刻な問題（システム障害、データ損失、セキュリティ侵害など）を引き起こす可能性があります。

1. 初期設定と初回接続

1.1. デフォルトデバイスネットワーク設定

EdgeAI Station のデフォルトネットワーク設定はモデルによって異なります：

EX3/EX5 モデル:

- **Eth0** (プライマリインターフェース) : 192.168.100.1/24 → ハードウェアポート **PoE1**
- **Eth1** (セカンダリインターフェース) : デフォルトで無効 → ハードウェアポート **PoE2**
- **無線インターフェース**: デフォルトで無効 (WebUI から読み取り専用)

EX7 モデル:

- **Eth0** (スイッチインターフェース) : PoE ポート 1-8 を管理 → ハードウェアポート **PoE{1-8}**
- **Eth1** (プライマリインターフェース) : 192.168.100.1/24 → ハードウェアポート **LAN1**
- **Eth2** (セカンダリインターフェース) : デフォルトで無効 → ハードウェアポート **LAN2**
- **無線インターフェース**: デフォルトで無効 (WebUI から読み取り専用)

プライマリおよびセカンダリの Ethernet インターフェースは、Web アプリケーションのネットワークングメインメニューから直接設定できます。

! 警告: 無線カード/インターフェースの設定は現在 Web アプリケーションを通じてサポートされていません。この設定にはリカバリモードでの手動設定が必要です。無線接続が必要な場合は、[セクション 4.3](#) で説明されているリカバリアカウントにアクセスして、必要な設定コマンドを実行する必要があります。

1.2. DNS 設定

i 注記: Update Pack 6 以降、DNS 設定なしでデフォルト IP アドレス (**192.168.100.1**) を使用してデバイスに直接アクセスできます。これは初回接続に最も簡単な方法です。

mDNS サポート

ネットワークが mDNS (マルチキャスト DNS) をサポートしている場合、`<device_id>.local`の形式でホスト名を使用して EdgeAI Station にアクセスできます。mDNS は、このプロトコルをサポートするネットワーク上で.local ドメイン名を自動的に解決し、デバイスの発見と接続を簡素化します。

 **重要:** 現在、DNS 名として指定できるのは `<device_id>`のみです。任意の名前は指定できませんのでご注意ください。

Linux、macOS、および Windows 設定

mDNS をサポートしないネットワークや手動 DNS 設定の場合、以下の手順に従って `/etc/hosts` ファイル (または Windows 上の同等ファイル) を設定し、デバイス ID による EdgeAI Station への直接アクセスを行います：

Linux:

1. ルート権限でテキストエディタで `/etc/hosts` ファイルを開きます：

```
sudo nano /etc/hosts
```

2. 以下のエントリを追加し、`<device_ip>`をデバイスの IP アドレスに、`<device_id>`をデバイス ID に置き換えます：

```
<device_ip> <device_id>.local
```

3. ファイルを保存して終了します。

macOS:

1. ルート権限でテキストエディタを使用して `/etc/hosts` ファイルを開きます：

```
sudo nano /etc/hosts
```

2. 同様のエントリを追加します：

```
<device_ip> <device_id>.local
```

3. ファイルを保存して閉じます。

Windows:

1. 管理者としてメモ帳を開き、`C:\Windows\System32\drivers\etc\hosts`に移動します
2. 以下のエントリを追加します：

```
<device_ip> <device_id>.local
```

3. ファイルを保存します。

1.3. EdgeAI Station の Web アプリケーションへのログイン

EdgeAI Station Web アプリケーションにアクセスするには、Web ブラウザを開き、設定されたホスト名または IP アドレスを使用してデバイスに接続します。接続が確立されると、提供されたクレデンシャルを使用してログインするよう求められます。デフォルトのユーザーアカウントは 3 つあり、それぞれ異なるアクセスレベルを持ちます（詳細は[セクション 1.4](#)参照）。

i 注記: Update Pack 6 以降、IP アドレス（デフォルト: **192.168.100.1**）またはデバイスのドメイン名（**<device_id>.local**）を使用してデバイスに直接アクセスできます。初期設定には、デフォルト IP アドレス **http://192.168.100.1** を使用してアクセスするのが最も簡単な方法です。

1.4. ログインページへのアクセス

システムには、異なるアクセスレベルを持つ 3 つのデフォルトアカウントが含まれています：

アカウント タイプ	アクセスレベル	デフォルトクレデンシャル
管理者アカウント	すべてのシステム設定とリソースへの完全アクセス	admin/#EdgeAI2024!
オペレーターアカウント	ビデオ処理と可視化のためのパイプライン、メディア、記録などの IVA（インテリジェントビデオ分析）リソースへの限定アクセス	operator/#EdgeAI2024!
ゲストアカウント	データ可視化と限定ユーザー操作のためのカスタムユーザーダッシュボードへのアクセス	guest/#EdgeAI2024!

⚠ 警告: ゲストカスタムダッシュボードはデフォルトでは利用できません。プロジェクトベースで開発する必要があり、将来のバージョンで利用可能になります。

🔴 重要: EdgeAI Station に初回ログイン後、デフォルトパスワードの変更を求められます。

1.5. セキュリティ上の考慮事項

パスワード警告

初回ログイン後にデフォルトパスワードが変更されていない場合、セキュリティ警告が表示されます。セキュリティ目的のため、ユーザーは直ちにパスワードを変更することを強く推奨します。


パスワードポリシー

システムは、セキュリティを確保するために以下のパスワードポリシーを適用します：

- 最小長: 8 文字

- 最大長: 最大長制限なし
- 大文字の必須: はい
- 小文字の必須: はい
- 数字の必須: はい
- 特殊文字の必須: はい

2. ユーザーおよびグローバル設定

 注記: これらの設定を変更するには管理者アクセスが必要です。

2.1. 言語設定

EdgeAI Station は現在 2 つの言語をサポートしています :

- 英語: システム全体で完全にサポートされ、主要言語として利用可能
- 日本語: 部分的にサポートされ、一部のセクションと機能が日本語で利用可能

言語設定は設定メニューから調整できます。一部の機能は英語でのみ完全にアクセス可能である場合があることにご注意ください。

2.2. ログレベル

ログレベル設定は、EdgeAI Station 上で動作するマイクロサービスによって生成されるログの詳細度に影響します。ログレベルの調整は、診断ニーズに基づいて詳細を管理するのに役立ちます。

利用可能なログレベルは以下の通りです :

- CRITICAL
- ERROR
- WARNING
- INFO
- DEBUG

2.3. タイムゾーンと NTP サポート

現在、デバイスがオンラインの時に日付と時刻は外部 NTP サーバーと自動的に同期されます。カスタム NTP サーバーオプションと手動の日時設定調整機能を将来サポートする予定ですが、現在は制限事項です。

タイムゾーンはドロップダウン選択メニューから自由に変更できます。デフォルトでは **Asia/Tokyo** に設定されています。

さらに、EdgeAI Station とクロックを同期する必要がある第三者機器 (例: RTSP カメラ) のための NTP サーバーサービスも提供しています。

このサービスは、プライマリまたはセカンダリ IP の **ポート 123** でアクセス可能です。

3. システムアップデート


システムアップデートセクションでは、現在のソフトウェアバージョンと EdgeAI Station のアップデート手順に関する重要な情報を提供します。

3.1. ソフトウェアバージョン

- **UIバージョン:** UIバージョンは Web アプリケーションインターフェースの左下に表示されます
- **マイクロサービスバージョン:** インストールされたマイクロサービスの詳細情報を表示するには、設定の現在のバージョンセクションにある**詳細情報**ボタンをクリックします。この情報はサポートとの連絡時に不可欠です

3.2. アップデート

新しいアップデートが利用可能な場合、システムは今後のパッケージまたはマイクロサービスのバージョンの詳細を提供する**詳細情報**ボタンを表示します。

 **重要:** アップデートプロセス中に以下を避けることが重要です：

- デバイスの電源プラグを抜かない
- デバイスをネットワークから切断しない

アップデート中に安定した電源またはネットワーク接続を維持できないと、デバイスが使用不能になり、動作状態に復旧するためにリカバリメンテナンスが必要になる可能性があります。システムアップデートを開始する前に、常に安定した条件を確保してください。

4. トラブルシューティング

4.1. ログの確認

トラブルシューティングを開始するには、システムログを確認できます：

1. メインメニューから**ログ**セクションに移動します
2. **critical**、**error**、**warning**などの重要度レベルに基づいてログをフィルタリングし、注意が必要な最も重要な問題を特定します

4.2. メトリクスの確認

ログに加えて、主要なシステムメトリクスを確認できます：

1. **メトリクス**セクションに移動します
2. CPU、GPU メモリ使用量、Triton サーバーパフォーマンス、パイプラインメトリクスなどの重要なメトリクスを確認することから始めます。これらの指標は、システムの健全性とパフォーマンスに関する洞察を提供し、問題をより正確に診断するのに役立ちます

4.3. リカバリアカウント

インシデントの場合にメンテナンス操作を実行したり、デバイスを復旧したりするために、ヘッドレスモードで制限されたリカバリアカウントが利用可能です。ログイン後、リカバリアカウントは制限されたシェルを提供し、特定のコマンドを実行できます。シェルコマンドの使用に関するヘルプとガイダンスは、ログイン時に提供されます。

リカバリアカウントへのアクセス手順

1. **ディスプレイと入力デバイスの接続:** ヘッドレスモードで仮想ターミナルにアクセスするために、EdgeAI Station デバイスに HDMI スクリーン、マウス、キーボードを接続する必要があります

2. **リカバリアカウントへのログイン:** 仮想ターミナルが利用可能になったら、以下のクレデンシャルでログインするよう求められます：

- **ログイン:** `emi`
- **パスワード:** `edgema!Box`

3. ログイン後、必要なリカバリまたはメンテナンスタスクのために制限されたシェルを使用できます

*** 重要:** セキュリティ問題を防ぐために、デフォルトパスワードを変更してください。

4.4. リモートサポート

さらなるトラブルシューティングが必要で、他の方法では問題が解決しない場合、Edgematrix にリモートサポートを依頼できます：

1. **サポートへの連絡:** Edgematrix の営業または技術サポートに連絡してサポートチケットを開きます
2. **セキュリティトークンの受信:** Edgematrix がセキュリティトークンを提供し、これをリモートコントロールメニューのアクセストークン送信セクションに入力する必要があります
3. **トークンの送信:** トークンを入力し、送信ボタンをクリックして接続を確立します
4. **リモートアクセス:** 接続されると、Edgematrix があなたの EdgeAI Station にリモートアクセスして、デバイスの状態を調査し、サポートを提供できます

i 注記: サポートセッションが完了した後、システムがアクセス可能でないことを確保するために、Edgematrix リモートコントロールプラットフォームからデバイスを切断することを確認してください。

4.5. 一般的な問題

問題 1: HDMI ディスプレイが空白 (cx-manager v1.1.28 から)

問題: HDMI ディスプレイは、以下の両方の条件を満たした場合のみ、正しく内容が表示されます。

- デバイスの電源投入前に HDMI ディスプレイが接続されていること
- デバイスの電源投入後に HDMI ケーブルを一度抜き差しすること いずれかの手順が実施されない場合、ディスプレイは空白のまま出力が表示されないことがあります。

解決策: HDMI ディスプレイを正しく表示させるには、

1. デバイスの電源投入前に HDMI ディスプレイを接続してください。
2. デバイスの電源投入後に HDMI ケーブルを一度抜き、再度接続してください。
 - もしくは、HDMI ケーブルの抜き差しの代わりにディスプレイの電源を一度オフにしてから再度オンにしても同様の効果があります。この手順により、仮想コンソールが正しく表示されます。

問題 2: デバイスが Edgematrix クラウドサービスに到達できない

問題: デバイスがインターネットまたは Edgematrix クラウドサービスに到達できず、接続アイコンが「接続なし」ステータスを表示します。

解決策: ネットワークカードのデフォルトルートと DNS サーバーが適切に設定されていることを確認してください。デバイスが外部アドレスを解決でき、インターネットへの有効なネットワークパスを持っていることを確認してください。